

阪大病院 職員の感染対策の心得

4月から阪大病院にいらっしゃった職員の皆さま、ご入職誠におめでとうございます。これから皆さまと一緒にお仕事ができることを楽しみにしております。

さて、阪大病院では職員のお一人お一人に日頃からの感染対策の徹底をお願いしております。とは言っても、特別なことではありません。

1. 院内でのマスクの着用：患者様に接する際は、ご自身だけでなく患者様もマスクを着用していることをご確認ください。
2. 手洗い：手洗いの「5つのタイミング」をご存知かと思いますが、特に患者様に触れる前、触れた後は必ず手指消毒を行ってください。
3. 黙食：マスクを外した状態での会話が新型コロナの感染リスクになります。食事中は黙食、マスク会食を徹底するようにしましょう。
4. ワクチン接種：個人の判断で接種するかどうかを決めるものですが、医療従事者が感染源とならないためにもぜひ接種をご検討ください。



新型コロナの流行が長引き、皆さんコロナ疲れも溜まってきているかと思います。しかし、この2年半でどういった場面で感染が起こりやすいのかよく分かってきました。屋外で人と距離が保たれている場面ではマスクの着用は必要ないですし、ドアノブやイスなどを1日に何度も消毒する必要もありません。

今後は継続可能なメリハリをつけた感染対策を行っていくようにしましょう。